



# 週間情報



No.0130

発行日 令和元年8月13日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03(3234)1321

## 消防本部の動き

### 行事

#### ◆ 地域防災イベントを実施

#### 倉敷市消防局（岡山）

倉敷市消防局では、令和元年7月27日（土）、市民の防火・防災意識の向上を目的とした官民一体型の地域防災イベントを実施しました。

今回の防災イベントでは、当消防局高度救助隊が実際の車両を破壊する交通事故救助の展示訓練を行うとともに、水陸両用バギーやミニ消防車の展示ブース、様々な体験コーナー等を設けました。

子ども達が、実際に消防の現場で使用する資機材を体験できるコーナーのほか、ボールによる重量物の持ち上げなど、大人から子どもまで楽しみながら防災体験をしていただきました。

今後も、このような防災イベントを通じて、倉敷市全体の防災意識の高揚を図っていきます。



【体験コーナーの様子】



【展示訓練の様子】

#### ◆ 箕面まつりパレードで火災予防等の広報を実施

#### 箕面市消防本部（大阪）

箕面市消防本部では、令和元年7月28日（日）、箕面まつりパレードにおいて、沿道に集まった方々に、箕面市防火協会と合同で、消防版の団扇3,500本を配布しました。

この団扇には、「住宅用火災警報器の定期的な点検の呼びかけ」、「#7119 救急安心センター おおさかのお知らせ」及び「危険物取り扱いの注意喚起」が当市ゆるキャラの「たきのみちゆずる・モミジージュ」とともに可愛くデザインされています。この団扇は大変好評で、来場された多くの方々に、効果的に火災予防等を呼びかけることができました。



【作製した団扇】



【パレードでの配布の様子】

## ◆ 1Dayインターンシップを開催

### 福島市消防本部（福島）

福島市消防本部では、令和元年7月30日（火）、消防士の仕事について理解を深めていただくため、高校生以上の方を対象に、インターンシップを開催しました。

消防全般の仕事を学び、救急出動体験や放水体験、結索訓練等を行った後に、高度救助隊による、はしご車を使った訓練も見学しました。

県内外より16歳から23歳の、使命感・責任感に溢れる未来の消防士36名が参加し、参加者の女性は、「保育所で消防署を見学したときから消防士に憧れ、地域に貢献できる職業に就きたいと思っています。言葉で聞くだけでなく実際にやってみると分かりやすい。今日は、実際に現場にでないと分からないことを体験できて、よい経験となりました。」と話していました。



【救急活動体験の様子】



【インターンシップ後の記念写真】

## ◆ 2019消防フェスティバルを開催

### 江別市消防本部（北海道）

江別市消防本部では、令和元年8月3日（土）、イオン北海道株式会社イオン江別店の屋外駐車場において、体験型の消防イベント「2019消防フェスティバル」を開催しました。

開会式では、1日消防クラブ員による防火宣言を行い、救助隊員の懸垂降下のほか、園児対象の消防車綱引きを実施しました。

各コーナーでは、1日消防クラブ員により、来場者に防火チラシ等を配布して防火広報が行われました。

また、消防職団員により消火・避難訓練やロープ渡過によるレスキュー体験、VRを使用した初期消火体験、はしご車搭乗体験など、主に体験型のコーナーを開設し、子ども用の防火衣を着て消防車をバックに写真撮影をするなど、どのコーナーも参加者が長い列を作り、閉会式まで途切れることがないほどの盛況ぶりでした。

このイベントを通じて、参加された防火クラブ員や市民の防火意識の高揚が図られ、特に幼児・児童にあっては、体験型のイベントにより、楽しみながら火災予防を学びました。



【消防車綱引きの様子】



【1日消防クラブ員による防火ティッシュ・チラシの配布の様子】

## ◆ 小学生消防宿泊体験学習を開催

### 佐久広域連合消防本部（長野）

佐久広域連合消防本部では、令和元年8月3日（土）及び4日（日）の2日間、当本部2回目となる管内の小学5・6年生を対象とした一泊二日の『小学生消防宿泊体験学習』を実施しました。

当体験学習は、児童たちに対する火災予防の普及啓発を図るとともに、学校とは違う団体生活での規律及び責任感の養成並びに郷土愛を育むことを目的に実施しております。

また、児童たちの将来の夢に「消防職員」という選択肢を増やす一助となることを願い実施したものです。

児童たちは2日間にわたる体験学習の中で、防火衣の装着体験、放水体験、はしご車の搭乗体験及び救命講習に汗を流しました。参加した15名の児童全員に消防長からオリジナルの記念Tシャツ、帽子及び修了証が授与され、児童たちからは、「消防の仕事は大変だと分かったけど、体験はとても楽しかった。」、「人の命を守る仕事の大切さがわかった。」等の感想が寄せられ、大変有意義な夏休みの思い出となりました。



【体験学習の様子】

## 訓練・演習

### ◆ 取り壊し予定の建物を使用した震災対応訓練を実施

### うるま市消防本部（沖縄）

うるま市消防本部では、令和元年7月27日（土）、旧役所庁舎において、地域防災力の向上及び巨大地震等が発生した場合の、うるま市消防団の担うべき役割と必要な知識及び技術の習得を目的に、震災対応訓練を実施しました。

訓練開始前に団長・副団長による装備品点検を実施し、徹底した安全管理の下、訓練を行いました。実際にドアや壁、窓等の破壊活動の難しさを体験し、団員の救助技術の向上や意識の改革に繋がる有意義な訓練を行うことができました。

今後も、継続的に団員の育成を計画してまいります。



【訓練の様子】

## ◆ ラグビーワールドカップ開催に向け合同訓練を実施

### 熊谷市消防本部（埼玉）

熊谷市消防本部では、令和元年7月30日（火）、ラグビーワールドカップ（RWC）会場の1つとなる熊谷ラグビー場で、RWC組織委員会、会場警備会社、警察、消防などの機関が参加し、実動訓練を実施しました。

観客席で爆発が起これ多数の負傷者が発生したとの想定で、発見通報から各機関の連絡体制の確認と、当消防本部のほか、会場等に配備する県内応援消防本部と警察とが連携する訓練を行いました。

当訓練により、9月の開幕を目前に、起こりうる災害に対して各機関の活動を確認することで連携を盤石にすることができました。



【訓練の様子】

## ◆ 山岳救助訓練を実施

### 八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部（青森）

八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部では、令和元年8月6日（火）、山岳救助訓練を実施しました。

訓練は、「山菜取りに行った男性が転落し、救助を求めているが、消防車両が進入不可」との想定で、青森県防災ヘリコプター「しらかみ」から救助隊員を現場へ投入し、航空隊と救助隊の連携確認及び協力体制強化を目的として実施しました。隊員は防災ヘリからの投入要領と、山岳救助に対する技術を高めることができ、とても有意義な訓練となりました。



【ヘリコプターへ収容する様子】



【訓練の様子】

## 研 修 等

### ◆ 消防用設備等研修会を開催

#### 大分市消防局（大分）

大分市消防局では、令和元年7月24日（水）、能美防災株式会社九州支社の松原伸二郎氏と荒川智則氏を講師に迎え、当消防局職員を対象に「現場活動と査察に役立つ自動火災報知設備」をテーマとして消防用設備等研修会を開催しました。

この研修会は、特に警防担当班が、現場活動時に自動火災報知設備を有効活用できるように、受信機の取り扱い・操作訓練に重きを置きました。

今後も、迅速かつ効果的な現場活動を追求し、査察の質の向上を図るため、各種知識の研鑽に励んでいきます。



【P型受信機・放送設備の取り扱い説明】



【R型受信機の取り扱い説明】

### ◆ ハラスメント研修会を開催

#### とちぎ広域消防局（北海道）

とちぎ広域消防局では、令和元年8月1日（木）及び2日（金）の2日間、管理職員を対象にハラスメント研修会を開催しました。



【研修会の様子】

この研修会では、ハラスメントを「しない」、「させない」、「許さない」という組織風土作りと、ハラスメントの防止及び撲滅の意識を高めることを目的に、株式会社インソースの松原恵美子氏を講師に招き、ハラスメントの正しい知識や対応方法について、ご講義いただきました。

2日間の研修会で、91名が参加し、ハラスメントがもたらす社会的影響をはじめ、業務上の命令や指導とパワーハラスメントの違いなどを学習し、各種ハラスメント対策への理解を深めることができました。

今後も、各種ハラスメントの撲滅に向けた取り組みを進め、働きやすい職場環境作りに努めてまいります。

## その他

### ◆ 消防協力者に感謝状を贈呈

#### 浜松市消防局（静岡）

浜松市消防局では、令和元年7月26日（金）、浜松市東消防署において、一致協力して救命処置を行っていただいた消防協力者3名に対し、鵜飼消防長から感謝状を贈呈しました。

当事案は、令和元年5月28日（火）午前8時39分頃、飲食店駐車場に男性が倒れているのを、隣接する会社の社員が発見し、社員3名が一致連携して119番通報、胸骨圧迫による心肺蘇生法を実施しました。

迅速かつ的確な対応により、男性は一命を取り留め、社会復帰を果たされました。



【贈呈式の様子】

### ◆ 消防協力者に感謝状を贈呈

#### 美唄市消防本部（北海道）

美唄市消防本部では、令和元年7月31日（水）、消防協力者1名と消防協力事業所1社に対し、相馬消防長から感謝状を贈呈しました。

令和元年6月26日（水）の昼頃、美唄市内の店舗併用住宅で発生した建物火災において、火災発見後、いち早く隣接する建物の関係者に知らせた協力者、その通報を聞いた隣接建物の店舗職員9名が協力し、出火建物内に煙が立ち込めるなか、初期消火活動と建物内に居た親子2名の避難誘導を行い、尊い命と財産を救いました。

贈呈式では「自己の危険を顧みず迅速的確な行動に対し、感謝を申し上げます」と感謝の言葉を送りました。



【贈呈式の様子】

## ◆ 消防協力者へ感謝状を贈呈

### 稲敷広域消防本部（茨城）

稲敷広域消防本部では、令和元年7月31日（水）、救急事案における消防協力者に対し、感謝状を贈呈しました。

令和元年6月16日（日）、道路上において女性1名が心肺停止状態で倒れているのを、通行人の方が発見しました。

発見者の方々が連携して、迅速な通報、的確な人工呼吸・胸骨圧迫及びAEDの装着を行い、救急隊到着時まで心肺蘇生を継続し、適切に救急隊へ引き継ぎました。女性は呼吸・脈拍が再開し、病院で治療後、後遺症もなく社会復帰されました。

発見者の方々による連携した勇気ある行動により、尊い命が救われました。



【表彰式の記念写真】

## ◆ 消防協力者へ感謝状を贈呈

### 大東四條畷消防本部（大阪）

大東四條畷消防本部では、令和元年7月31日（水）、火災の早期発見及び初期消火に貢献された消防協力者10名に対して、消防署長から感謝状を贈呈しました。

当事案は、同年5月27日（月）、市道脇の雑草が燃えているのを付近の施設で働いていた従業員4名が発見し、事態に気付いたテニススクールのメンバー6名も加わり、総勢10名でバケツリレーを行い初期消火したものです。

この一帯は、準工業地帯で人通りの少ない地域のため、発見が遅れ、適切な初期消火が実施されていなければ、付近の建物に延焼していた可能性もあったことから、10名の迅速・的確な初期消火活動に対し感謝の意を表しました。



【贈呈式の様子】

## ◆ こども消防士育成プロジェクト～君も未来の消防士～ 伝承編

### 始良市消防本部（鹿児島）

始良市消防本部では、令和元年8月3日（土）及び4日（日）の2日間、当消防本部において、こども消防士育成プロジェクトを開催しました。

このイベントは、2018年より開催され、子供たちに消防士の仕事の魅力を伝えるとともに、防災の大切さや命の尊さを知ってもらい、心肺蘇生法を学ぶことで、バイスタンダーによるC P A患者の救命率向上を高めることを目的としています。

第2回目の今回、昼食時間・午後の心肺蘇生講習後の時間に、災害医療・救急医療に触れて、体験してもらうコーナーを設けました。いくつもの大きな災害が襲った「平成」から消防及び医療従事者が学び、発展させてきたことについて、次世代の子供たちに伝えていくことを目的としております。

また、保護者にも、災害医療・救急医療の概要を説明するよい機会となりました。



【車両説明の様子】



【参加者との集合写真】

## ◆ 予防技術資格者認定証交付式を実施

### 菊池広域連合消防本部（熊本）

菊池広域連合消防本部では、令和元年8月5日（月）、予防技術資格者認定証交付式を執り行いました。

管内の人口、防火対象物の増加に伴い、高度化・専門化する予防業務を的確に行うとともに、防火査察の質の向上を目的とし、火災予防に関する高度な知識・技術を有する消防職員13名に対し、辻文明消防長から認定証と認定バッジが交付されました。

認定された消防職員は、認定バッジを身につけ、資格者としての自覚と誇りを持ち、「より一層予防業務に邁進します。」と述べました。

この認定証及び認定バッジの交付を契機として、若い消防職員が予防業務に関心を示し、予防の知識・技術を身につけることで、予防業務の高度化が期待されます。



【交付式の様子】

## 国等の動き

### 消防庁通知等

#### ◆ ガソリンの容器への詰め替え販売に係るリーフレットの送付について

(事務連絡、令和元年8月2日)

消防庁危険物保安室から各都道府県消防防災主管課、東京消防庁・各指定都市消防本部あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

平素より消防行政の推進にご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和元年7月18日に発生した京都府京都市伏見区における爆発火災を踏まえ、「給油取扱所におけるガソリンの容器への詰め替え販売に係る取扱いについて」（令和元年7月25日付け消防危第95号）を通知したところです。

今般、本通知に掲げる取組み内容について、給油取扱所事業者向け（別添1）及びガソリンを容器で購入する顧客向け（別添2）のリーフレットを作成しましたので、給油取扱所関係事業者における広報啓発にご活用ください。（別添1及び2省略）

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

([https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/190802\\_kiho\\_jimul.pdf](https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/190802_kiho_jimul.pdf)) に掲載されています。

(問い合わせ先)  
消防庁危険物保安室  
担当：竹本、羽田野  
TEL 03-5253-7524 / FAX 03-5253-7534

#### ◆ 危険物取扱者の保安講習における留意点について（給油取扱所におけるガソリンの容器への詰め替え販売関連）

(消防危第102号、令和元年8月2日)

消防庁危険物保安室長から各都道府県消防防災主管部長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

令和元年7月18日に発生した京都府京都市伏見区における爆発火災を踏まえ、「給油取扱所におけるガソリンの容器への詰め替え販売に係る取扱いについて」（令和元年7月25日付け消防危第95号。以下「95号通知」という。）を通知したところですが、95号通知に掲げる取組みを各給油取扱所に周知徹底することが喫緊の課題となっています。

つきましては、貴管内で行われる危険物取扱者の保安講習において、給油取扱所で危険物の取扱作業に従事する危険物取扱者に対し、別添のリーフレットの活用等により、95号通知に掲げる取組みについて周知されるようお願いいたします。（別添省略）

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/d0be53d35dace4c717616a54f7077517bf4bc1f6.pdf>) に掲載されています。

(連絡先)  
消防庁危険物保安室  
担当：竹本、勝本、羽田野、辰川  
TEL：03-5253-7524  
FAX：03-5253-7534

#### ◆ 救急業務に必要な資器材の使用等について

(事務連絡、令和元年8月7日)

消防庁救急企画室から各都道府県消防防災主管部(局) 東京消防庁・指定都市消防本部あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

平素より消防救急行政に御尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

各消防本部における救急隊員については、その職務の適正な遂行のため、救急業務に必要な資器材の適正な管理について、日ごろより努められていることと存じます。

しかしながら、今般、救急救命士が傷病者に対して行う静脈路確保用の留置針の使用・取扱いについて極めて不適切な事案が発生しました。

つきましては、下記に留意の上、適正な救急業務の遂行が図られるよう徹底し、都道府県にあっては貴都道府県内の市町村(消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。)に対し、この旨周知徹底されるようお願いいたします。

一以下省略一

- 全文は、消防庁ホームページ

([https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/190807\\_kyuuki\\_01.pdf](https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/190807_kyuuki_01.pdf)) に掲載されています。

#### 【問合せ先】

消防庁救急企画室 三島課長補佐、堤係長

電話：03-5253-7529

E-mail：[kyukyusuishin@soumu.go.jp](mailto:kyukyusuishin@soumu.go.jp)

#### ◆ 危険物規制事務に関する執務資料の送付について

(消防危第111号、令和元年8月7日)

消防庁危険物保安室長から各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

危険物規制事務に関する執務資料を別紙のとおり送付しますので、執務上の参考としてください。(別紙省略)

また、各都道府県消防防災主管部長におかれましては、貴都道府県内の市町村(消防の事務を処理する一部事務組合等を含む。)に対してもこの旨周知されるようお願いいたします。

本通知は消防組織法(昭和22年法律第226号)第37条の規定に基づく助言として発出するものであることを申し添えます。

一以下省略一

- 全文は、消防庁ホームページ

([https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/190807\\_kiho\\_111-.pdf](https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/190807_kiho_111-.pdf)) に掲載されています。

(問い合わせ先)

消防庁危険物保安室

担当：竹本、羽田野

TEL 03-5253-7524 FAX 03-5253-7534

## 情報提供

### ◆ 令和2年度指導救命士養成研修における研修生の募集について

#### 一般財団法人救急振興財団 救急救命九州研修所

救急救命九州研修所では、令和2年度指導救命士養成研修における研修生の募集を行っております。募集の案内については、都道府県を通じて各消防本部の研修担当者あて送付しているところですが、当研修所が行っている指導救命士養成研修の特長について、消防本部の研修担当者のほか、指導救命士を目指す救急救命士の方々が直接閲覧できるよう当財団のウェブサイトに掲載いたしました。[\(http://fasd.jp/publics/index/309/\)](http://fasd.jp/publics/index/309/)

研修の特長として、最新の知識を持った専任教授及び経験豊富な教官による徹底指導、国の指針を上回る232時限の研修など、手厚い研修を実施しております。各本部からの応募をお待ちしております。

(問い合わせ先)  
救急救命九州研修所  
研修部 古井、清  
電話 093-602-9965

## 機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

### ① トップ・セカンド記事

### ② 知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

### ③ 女性職員の活躍・推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報No.0117又は機関誌「ほのお」2019年4号(4/25発刊)を参照願います。

TEL: 03-3234-1321 機関誌「ほのお」担当: 企画課 石井

原稿データは、[kikachosei@fcaj.gr.jp](mailto:kikachosei@fcaj.gr.jp)に送信願います。

### ③ 消防ワイド

※150文字程度(160文字以内)の原稿Wordデータ及び画像データはWord等に貼り付けず、JPEGデータのまま送付してください。

TEL: 03-3234-1321 機関誌「ほのお」(消防ワイド)担当: 情報管理課 渋谷

原稿データは、[joho-sys@fcaj.gr.jp](mailto:joho-sys@fcaj.gr.jp)に送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

## 週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せ下さい。

TEL: 03-3234-1321 / E-mail: [weekly@fcaj.gr.jp](mailto:weekly@fcaj.gr.jp)

### 記事の投稿に関する注意点

- ・ 配信日(原則火曜日)から2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・ 文章は、Wordで200字～400字程度で作成をお願いします。
- ・ 写真は、1枚～2枚をWordに貼り付けて送付してください。  
(貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。)
- ・ 掲載が決定した場合のみ、担当者よりメールを返信させていただきます。

TEL: 03-3234-1321 「週間情報」担当: 企画課 清田